

安来市加納美術館

リニューアル記念特別展

安来ゆかりの 美術家たち

油彩・日本画・版画・書・彫刻・陶芸

安来市の公共施設所蔵品を中心に安来ゆかりの美術家たちの作品を展示。
美術館初展示の作品の数々をお楽しみください。

教科書
収載記念
企画展



かんらい
「莞菴の想い」

次世代に

戦後、平和を希求し続けた画家、加納莞菴。
莞菴が半生をささげた平和への想いは、
今、中学校歴史の教科書にも掲載され、
次世代につながっていくこととしています。

特別
展示

「玉鋼縁起絵巻」松本春々作 和銅博物館 蔵
「山中幸盛像」瀧秋方作 安来歴史資料館 蔵

同時開催
小企画展

「大谷歆到 漆芸作品展」(新規収蔵品の中から)

安来市出身の漆芸家、大谷歆到の作品の中から棗(なつめ)を中心に展示。

2021 6/19(土)～7/12(月)

会期中
入館料無料

■開館時間／9:00～16:30 (最終入館16:00)

■会期中の休館日／毎週火曜日(祝日の場合は翌日)

主催:安来市加納美術館 共催:安来市教育委員会
後援:安来市文化協会 広瀬町文化協会

！ 感染症予防のため、入館時にはマスク着用、検温等にご協力いただきますようお願いいたします。また、人数制限を行う場合があります。詳しくは美術館までお問い合わせください。



安来市加納美術館
YASUGI KANO MUSEUM of ART

〒692-0623 島根県安来市広瀬町布部 345-27
Tel:0854-36-0880 <https://www.art-kano.jp>



安来ゆかりの美術家たち

安来市加納美術館は8カ月休館し、美術館の機能の充実とバリアフリー化のリニューアル工事をおこないました。リニューアルオープンを記念して、安来市の公共施設(庁舎、小中学校、交流センター、図書館など)が所蔵する安来市にゆかりのある作家の皆さんの作品をあつめ、安来の文化の深さやすばらしさを感じていただく展覧会を企画いたしました。

安来に生まれ地元で根差した活躍をした方、地元を離れ東京や国外で活躍されていた方、また、安来にいらして制作活動に励まれた方、かわり様は様々ですが、安来の土地や人々にたいする深い気持ちが表れた作品群です。

また、市内施設連携として、和鋼博物館から「玉鋼縁起絵巻」、安来市歴史資料館から「山中幸盛像」が特別に出品されます。

同時開催
小企画展

「大谷歆到 漆芸作品展」

安来市出身の大谷歆到(1896~1987)は大正時代の日本を代表する蒔絵師です。パリ万博(1925年)主席入選、フィラデルフィア万博(1926年)グランプリを受賞しています。安来市加納美術館のリニューアルを機に117点の作品が当館の収蔵品に加わりました。今回はその中から粟を中心に展示します。華麗な蒔絵をお楽しみください。

教科書
記載記念
企画展

「莞薔の想い 次世代に」

安来市出身の画家加納莞薔(1904~1977)は、戦後日本人フィリピンBC戦犯の助命嘆願書をフィリピン大統領はじめ、世界の要人たちに送り続けました。その活動は世界の恒久平和への希求へと発展し戦犯解放後もずっと続きました。莞薔の活動は今年から中学歴史教科書に取り上げられています。

次世代へとつながっていく莞薔の平和への想いを絵画作品と資料を通じてごらんください。



フィリピンのキリノ元大統領と握手する莞薔 1955年

❗ 感染症予防のため、入館時にはマスク着用、検温等にご協力いただきますようお願いいたします。また、人数制限を行う場合があります。詳しくは美術館までお問い合わせください。



レストランやまさやを併設しています。

火曜日定休日
(祝日の場合は翌日)

■ 出展作家(予定・五十音順)

- 洋画** 佐藤信光 田中太 富谷一明 仲西清市
難波巳喜夫 丸山勝三 山崎修二
湯浅栄一 吉留斐 米原智
- 日本画** 青戸慧 宇山明 木村棲雲 妹尾白涯
瀧秋方 為国安堂 為国健一
- 水墨画** 内田洋彩 島田皓紀
- 版画** 川井一玄 小藤包 田中太穂
- 彫刻** 富田憲二 西田明史 細田育宏 米原雲海
- 書** 足立蒼石 井上赳 岩田仙到 勝部正人
中原良泰
- 陶芸** 岩坂直 河井寛次郎 河井武一 河井久
中島秀悦 中島武男
- 工芸** 小池薫

